

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・後期・B群	
	対象学科・専攻	機械工学科	
図学 (Descript Geometry)	担当教員	日高 基次 (Hidaka, Mototsugu)	
	教員室	非常勤講師控室	
	E-Mail	mtg-hidak@aqr.bbiq.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 15回		
[本科目の目標] 図学の目的は、空間にある立体の概念及びその図示方法を理解し、緻密な思考と正確な作図能力を養うことにある。また、製図の基礎知識を理解し、製図の基本技術に習熟することである。			
[本科目の位置付け] 機構学、機械設計、製図との関連が深くアイデアを表現する重要な技術の一環をなすものである。			
[学習上の留意点] 演習及びレポートで習熟度を確認するので決められた日時まで提出すること。毎回製図用具を使用するので、忘れないこと。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1 製図の基礎及び平面図形の作図法	4	製図用具の使用法、及び作図法が理解できる 円錐曲線の作図ができる。 インポリュート曲線の作図ができる。	P1-p10, p14の内容について教科書を読んで内容を把握しておく。
2 投影法	6	投影法、点・直線の投影を理解できる。 副投影を理解できる。	P17-p24, p27-p31の内容について教科書を読んで内容を把握しておく。
3 直線の問題	4	直線の傾きと実長を求めることができる。 直線の交わりを求めることができる。 平行直線及び互いに垂直な直線が作図できる。	P33-p42の内容について教科書を読んで内容を把握しておく。
——後期中間試験——			
4 平面	6	平面上の点及び直線の作図ができる。 平面と直線の交わりを求めることができる。 平面と平面との交わりを求めることができる。	P45-p52の内容について教科書を読んで内容を把握しておく。
5 立体	8	各種投影法の違いを理解できる。 立体の切断面を表すことができる。 相貫体について理解できる。 立体の展開を理解し作図できる。	P61-p66, p69-72, p74-p79, p84-p88の内容について教科書を読んで内容を把握しておく。
——後期期末試験——			
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解できる。	

